

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科 2年	単位	前期 9・後期 8 単位
科目コード 101210/101310/101410	科目名 ニットアパレル I	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 八木原 弘美	共同担当者 : 御田 昭子
-------------------	---------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します)

ニットに関する専門職に従事することを想定して、ニット産業界の構造からニット製品の基本的な知識までを総合的に学ぶ。ニット独自の素材の糸や編地別の表現や製作上の特徴を理解したうえで、それらを有効に生かしたデザインを発想し表現する。また個性やオリジナリティなどの表現を大切にし、ニット素材による衣服作りを「デザインと製品化」の視点から教育する。2年次は編み地の特質を生かした物づくりのプロセスを習得する基礎段階とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先
ニットアパレル論 I 101210 ニットアパレル演習デザイン I 101310 ニットアパレル演習実技 I 101410

	時数	題目
前期	6	ニットの一般常識
	4	鉤針編み・棒針編み・機械編みの基礎
	12	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	34	ブルオーバー(機械編み作品)
	2	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	1	糸見本帳/素材・編地
	15	スカート I (たて方向・機械編み作品)
	15	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	15	スカート II (よこ方向・機械編み作品)
	4	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
後期	11	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	2	手横/リンクス基礎
	8	ニット小物(手袋・靴下)
	16	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	30	ラグランスリーブブルオーバー(棒針編み作品)
	5	パンツ・ワンピースほか(作図のみ)
	6	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	51	修了制作(作品)・小物コーディネート制作
	8	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	13	修了制作・小物コーディネート制作/ショーアップ準備
	6	部分編み各種(鉤針編み・棒針編み・機械編み)
	10	ポートフォリオ

評価方法・対象・比重	ニットアパレル論・・・筆記試験100%
ニットアパレル演習実技	・・・実技試験40%・課題50%・授業姿勢・出席状況10%
ニットアパレル演習デザイン	・・・課題100%

主要教材図書	文化ファッショングラフィック大系 アパレル生産講座 ニットの基礎技術・工業ニット
参考図書	織維産業構造改善事業協会編 ニットアパレル I・II
その他資料	オリジナルプリント

授業の特徴と担当教員紹介

ニット全般の基礎的な知識と技術を幅広く学ぶ。

実際に編地や商品、作品に触れながらニット独自のもの作りを体系的に学んでいく。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 御田 昭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科名	ニットデザイン科2年	単位	1単位【13コマ】
科コード	KH2	授業期間	後期
科目コード	402500		

担当教員(代表) : 八木原 弘美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など

工業用編機を用いたニット製品の生産システムを理解するため、横編みの編成原理と編み立て方法を学ぶ。デザインシステムとコンピュータ編機を使用して編地を製作し、3年次の工業ニット作品制作の基礎となる知識を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、コンピュータ制御編機概論 【2コマ】

緯編みと経編みの違い、ニットの特徴について

- ・家庭機と工業機の違い
- ・編成方法の種類
- ・ニットの三原組織、ニットタックミスについて
- ・機種による針の違い、用途について
- ・編地作成手順・適性番手について
- ・素材について(工業機用定番糸からファンシーヤーンまで)

2、デザインシステム・コンピュータ編み機実習 【11コマ】

- ・コンピュータ編機のシステム流れ
- ・編み組織、色番号と描画の関係、糸と度目値などの機械調整
- ・グループによる編地の編み立て実習
(リンクス柄組・レース柄・ダブルジャカード7G/12G・編み出し各種)
- ・ニットコンピュータシステム演習基礎 編地ファイル提出

【評価方法】

出席、授業姿勢2割、提出物8割

主要教材図書 アパレル生産講座⑯工業ニット

参考図書

その他資料 「SDS自動制御システム取扱説明書」(株)島精機製作所編、オリジナルテキスト、参考作品

授業の特徴と担当教員紹介

コンピュータニット全般の基礎知識と技術を学ぶ。実際にデザインシステム、編み機を操作し、コンピュータニットの編地、ものづくりを体験的に学び、3年次での物づくりにつなげる。文化服装学院専任教員が担当。

記載者氏名 八木原 弘美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位 2単位
科目コード 201800	科目名 ニット概論	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 近藤 幹也

共同担当者 : 御田 昭子 八木原 弘美

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を学習する。将来、デザイナーとして必要な、商品企画や物づくりのための、幅広く体系的な見識と技量の養成を目指す。
具体的には、主として、ニットの代表的な商品である成型セーターの工業品としての「物づくり」に必要な、各段階での技術的知識及び管理方法とそのいろいろな実践的な応用方法を習得させる各論重視の教授を行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業は、講義を基本とし、その主要な内容は次の通りとする。

1. ニットの基礎知識 (4コマ)
 - 1) 編地と織物及び特性
 - 2) 編成の原理
 - 3) ニットの構造及び分類
 - 4) ニットの用途及び代表的な製品セーターの解説

2. ニット用糸の解説 (3コマ)

- 1) 糸に関する一般的な解説
- 2) ニット用糸の必要事項、(編成ゲージと番手、番手のいろいろな計算法及び演習、斜行)

3. ニットの主要素材 (4コマ)

- 1) 素材の分類
- 2) 主要素材原料の解説
- 3) 素材の染色及び加工処理 (染色の方法、染料、色に関するトラブル、化学的及び物理的加工処理法)

4. ニット素材及び製品の染色と加工 (4コマ)

- 1) 原素及び糸などの染色 (染色の方法、染料、色に関するトラブルなど)
- 2) 原素及び糸の化学的及び物理的加工処理法など

5. 編機 (2コマ)

- 1) 編機の種類と分類
- 2) 編機のゲージ
- 3) 編機の技術確信ポイント
- 4) 主要編機の編成方法と特徴

6. 編成 (3コマ)

- 1) 適正ゲージ
- 2) 成型編の方法 (主要成型編法、休止編法と無縫成型編の原理など)
- 3) 主要付属部品の編成法

7. 編地 (4コマ)

- 1) 組織及び分類
- 2) 主要組織の解説
- 3) 組織図の解説及び演習 (編地の分解、組織図の作成)
- 4) 主要編地の特徴

8. ニットの縫製 (3コマ)

- 1) ニット縫製の特徴
- 2) リンキング縫製とその品質管理

9. ニットの整理仕上げ法 (3コマ)

- 1) 整理仕上げ法とその分類

10. 工場及び展示会などの見学

評価方法・対象・比重

試験 80 % 出欠・課題 20 %

主要教材図書 改訂版「ニットの実用知識」 文化ファッション大系 工業ニット

参考図書 随時、「ニット生産概論演習」、及び英訳資料「衣料科学技術」(原書: Clothing Technology) など。

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

研究機関において織物、ニット分野での試験、研究、指導事業に従事した経験をもとに、使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を講義する。

記載者氏名 御田 昭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH	科名 ニットデザイン科 2年	単位 2単位
科目コード 002611	科目名 ドレーピング・服裝造形 IA	授業期間 前期 (26 コマ)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

立体裁断を通して服作りの基本理論と技術をニットとの関連性を持たせて創造表現できるように指導する。原型・胸ぐせダーツ・シャツブラウスを通して、身頃の特徴を理解させる。

【授業計画】

- ・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

テーマ	時数	指導内容	学習内容と製作物
-----	----	------	----------

ドレーピングについて 1 ドレーピングの学び方服作りの基本理論と
(立体裁断) 技術をニットとの関連性を持たせて創作表現
出来るように指導する。

ドレーピング準備 1 ボディの考察
用具の説明
ボディの目標線入れ
トワルの扱い

原型 10 平面作図と比較しながらドレーピングで胸ぐせを
理解させる。最後に自由に胸ぐせダーツを移動させて
オリジナルを制作させる

・胸ぐせ サイドダーツ
ネックダーツ
自由制作

シャツブラウス 10 シャツカラーのブラウスを製作させる。
(平面からの作図で身頃を組み立てる⇒衿はドレーピング)

衿 4 基本的な衿を平面で説明、ドレーピングさせる。

・シャツカラーのブラウス
・フラットカラー
・スタンドカラー

【評価方法】

課題(製作物) 50%、 出欠・授業態度 50%

主要教材図書 アパレル生産講座③ 立体裁断基礎編 服飾造形講座① 服飾造形の基礎
服飾造形講座② ブラウス、ワンピースドレス

参考図書

その他資料

記載者氏名 花田 浩朝

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH	科名 ニットデザイン科 2年	単位	3単位
科目コード	科目名 ドレーピング・服裝造形 I B	授業期間	後期 (39 コマ)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期 I A で学んだことを基本とし、ジャケットをドレーピングし、あわせてラグランスリーブの作図法を理解させ、あきの始末や薄物の部分縫いを通してニットの各所に利用できるように指導する。

【授業計画】

- ・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

テーマ	時数	指導内容	学習内容と製作物
プリンセスライン のジャケット	15	四面構成のテーラードジャケットを平面作図と比較 しながらドレーピングで製作させ、合わせて 衿、二枚袖の構造を理解させる。	・プリンセスラインのジャケット
ラグランスリーブ の作図	3	ラグランスリーブの資本的な作図法を理解させる。	・各自ラグランスリーブの 作図をする
スカート	12	基本となる2種のスカートを平面作図と比較 しながらドレーピングで製作し各種の特徴を 理解させる。	・タイトスカート ・フレアスカート ・セミフレアスカート（説明のみ）
薄物の部分縫い	5	透ける素材の始末	
あきの始末	4	比翼ファスナー部分縫い	

【評価方法】

製作物50% 出欠・授業態度50%

主要教材図書 アパレル生産講座③ 立体裁断基礎編 服飾造形講座① 服飾造形の基礎
服飾造形講座⑤ コート・ケープ 服飾造形講座⑦ 服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）

参考図書

その他資料

記載者氏名 花田 浩朝

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ニットデザイン科2年	単位	単位
科目コード	科目名	ファッショングデザイン画II	授業期間	2

担当教員(代表) :	水野雅己	共同担当者 :
------------	------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ニットデザインに求められる技術・知識の要素をデザイン画カリキュラムに配分し課題ごとに構成。
学生が自らのアイディアを具体的に表現し、まとめる能力を育成する。

【授業計画】

前期 1 ~6 (14 コマ)	1. オリエンテーション 年間授業内容の説明、学習意欲を持たせる	1コマ
	2. 動きのあるポーズ	1コマ
	3. 基礎編み各種の描き方	2コマ
	4. ニットウェア 習得した基礎編みの描き方でデザイン画を 1 スタイル描く	2コマ
	5. 素材表現 (ニット) 画材パステルの特徴を活かしたニット表現	2コマ
	6. アイテム製品図	2コマ
	7.マイニットデザイン テーマ設定のもとにデザインソースを収集しデザインコンセプトからデザイン画と アイテム製品図、一連の制作の流れを理解し、デザイン説明までを行う	4コマ
後期 7 ~9 (14 コマ)	8. 素材表現 II (柄・模様) 前期の課題で習得した知識、技能を活かしたデザイン展開でデザイン画を描く	2コマ
	9.マイコレクション 1 シーズンのコレクションを考案、デザイン展開プロセスからデザイン画、アイテム図をページ構成	6コマ
	10.修了作品／校内ファッショングデザイン画展 指定された制作条件の基に、これまで習得した感性の成果をファッショングデザイン画でまとめる。	6コマ

【評価方法】

提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度

授業の特徴と担当教員紹介 学生の能力を引き出すために、学生に寄り添う指導を目指す。
理解しやすいデモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。

主要教材図書

参考図書

その他資料 Fashion Drawing Basic

記載者氏名 水野雅己

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科 2年	単位 1単位
科目コード 200210	科目名 アパレル染色演習（ニット）	授業期間 半期（前期）

担当教員（代表）：吉村とも子

共同担当者：増田 美砂希

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル制作に応用展開できる能力を養う。さらに染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. ガイダンスおよび染色概論	(1コマ)	(講義)
・授業内容について		
・主な染料の種類と特徴		
・染料と繊維の染色適合性		
・染料と繊維の結合と染着過程		
2. 酸性染料による原毛染色	(1コマ)	(実習)
・酸性染料の特徴		
・羊毛の酸性染料による浸染法		
3. 染色した羊毛を使用したフェルト制作	(2コマ)	(講義・実習)
・羊毛の縮絨性		
・羊毛のフェルト制作方法		
4. 直接染料による絞り染め	(2コマ)	(講義・実習)
・直接染料の特徴		
・絞り染めによる防染の仕組み		
・絞り技法と染色方法		
5. 顔料樹脂染料による型紙捺染	(2コマ)	(講義・実習)
・型紙捺染の仕組み		
・捺染の種類と版式		
・顔料樹脂染料の特徴と染料との比較		
・型紙制作と印捺、仕上げ方法		
・特殊プリント加工		
6. 糸染色	(4コマ)	(講義・実習)
・試し染めの方法		
・総糸の染色前準備と浸染方法		
7. アパレル製品の品質について	(2コマ)	(講義・実習)
・染色堅牢性にかかる知識		
・品質表示と関連する法規制		

評価方法・対象・比重

S～C・F評価（学業評価 70%、授業姿勢 30%）

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な技法を実習後、アパレル製品の品質について学ぶ

担当教員紹介

吉村 とも子：文化女子大学（現文化学園大学）卒業後、文化服装学院勤務 現在講師 品質論、染色担当

増田 美砂希：文化服装学院卒業。文化服装学院勤務、助手

記載者書名欄 吉村とも子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位	1単位
科目コード	科目名 色彩計画 I	授業期間	(前期)
担当教員(代表) : 三枝みさお		共同担当者 :	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション色彩における応用配色の理論と技術を講義と演習を通して身につけ、色彩計画へ展開する実践力を磨くことを目標とする。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 配色と色彩調和 【講義・演習 5コマ プリント演習・課題作成】

- (1) 色相とトーンの関係による流行配色 トーン・オン・トーン配色 トーン・イン・トーン配色
カマイユ配色 フォ・カマイユ配色
- (2) 色相と明度の関係による流行配色 ナチュラル・ハーモニー コンプレックス・ハーモニー
- (3) 色数による流行配色 ビコロール配色 トリコロール配色
- (4) まとまり感と明瞭感を求める配色 ドミナント配色 コントラスト配色

2. ファッションイメージとカラーコーディネーション 【講義・演習 2コマ プリント演習・課題作成】

- (1) ファッションイメージのとらえ方とイメージ別配色 クラシック エレガント ロマンティック
エスニック フォークロア スポーティブ
マニッシュ ソフィスティケート モダン
- (2) ファッションイメージ別ビジュアルとキーワード

3. ファッション産業における色彩計画 【講義・演習 6コマ プリント演習・課題作成】

- (1) 色彩情報の種類
- (2) 色彩情報の収集と分析方法 チャートを使用したデータの整理
- (3) コンセプトとしての色彩 カラーコンセプト カラーテーマ カラーパレット
- (4) デザインにおける色彩計画 ベースカラー アソートカラー アクセントカラー
ベーシックカラー トレンドカラー カラーバリエーション 移調
- (5) 商品企画における色彩計画 復習とまとめ パーソナルカラー

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座②『服飾デザイン』文化服装学院編 (文化出版局)

参考図書 なし

その他資料 ベーシックカラー140 B5版 カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : 講義と演習によって理論と感性を磨く

担当教員 : 文化服装学院専任教授

記載者氏名 三枝みさお

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位	1単位
科目コード 304020	科目名 服飾手芸Ⅱ	授業期間	(前期)

担当教員(代表)：下村 みち代

共同担当者：

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

作品制作の上ではさまざまなレース技法が欠かせない。

鉤針では表現できない種類のレースを学び、創造力を養いニット作品に応用していく。レースの基礎知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

* レースの一般常識(時数3)

レースの歴史、用具の説明、ビデオ鑑賞

* ヘアピンレース(時数3)

ヘアピンの器具と鉤針を用いて透かし模様を表現する。

* テネーリフレース(時数4)

糸を渡して、その糸を土台として結んだり、かがったりして作るレース。

* タッチングレース(時数2)

タッチングシャトル器で糸の結び目を作りレースを構成する。

鉤針で作るタッキングでレースを編んでいく。

* スモッキング(時数1)

リブ地の編地にスモッキングの技法をする。

* ドロンワーク(時数1)

ドライブ編み、針抜き編みを理解し、ドロンワークの技法をする。

* 花カード(時数1)

糸をカードに巻き薄いモチーフを作る。

評価方法・対象・比重

出席状況と作品で評価

主要教材図書 講座手芸 オリジナルプリント

参考図書 ニット洋書各種 毛糸だま(日本ヴォーグ社)

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ニットに関連する手芸のテクニックを中心に紹介し、実習を行う。
文化服装学院専任教員が担当。

記載者氏名 下村 みち代

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位 1
科目コード 605210	科目名 ニットマーチャンダイジング I	授業期間 後期

担当教員(代表) : 中安 知穂	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など OEMODMデザイナーの実務に近い、得意先ブランド理解、MAP提案、仕様書作成などの相手のニーズに応える演習を行いながら、社会性のあるニット企画プランナー、デザイナーの育成を目標とする。2年次を基礎とし、3年次のニットマーチャンダイジングIIにつなげる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 ○後期 14コマ ・マーチャンダイジング概論、情報収集と分析 競合ブランドの定点観測・市場調査とマーケットリサーチの手法 フィードバックと企画提案 ブランドコンセプトに合わせた資料収集と構成 ニット業界のマーケット現状(生産・MD) ・イメージマップ(ムードボード)作成 ・トレンド調査を基にグラフィックワークで表現 ・仕様書について 仕様書(指示書)の見方 検寸など
--

評価方法・対象・比重 課題作品提出物・レポート・プレゼン・提出期限厳守の総合評価 80%	授業態度 20%
---	----------

主要教材図書 アパレル生産講座⑮工業ニット オリジナルプリント
参考図書
その他資料 ニットアイテム各種
授業の特徴と担当教員紹介 アパレル企業でのニット企画の経験をもとに、ニットアパレルのマーチャンダイジング実務の指導と、企画提案～生産までの実務演習を指導する。

記載者書名欄 中安 知穂

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド	科名 ニット科	単位	1単位
科目コド	科目名 英会話	授業期間	前期
担当教員(代表) : 増田和香子	共同担当者 :		

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今までに学んだ基本的な文法知識を復習し、自分の作品について簡単な英語で発信できることを目標とする。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通した会話練習、聞き取り、英作文、プレゼンテーションなどを組み込んだ構成とする。基礎科で英会話を履修した学生には積み重ねとなるよう構成をしている。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Unit 1 自己紹介 Self-introduction	演習	1	Unit 17 道案内 Giving and asking for directions	演習	1
Unit 8, 9, 10 時制の復習	演習	1	Unit 27 ツールと指示 Sewing tools and giving instructions	演習	1
Unit 14 助動詞	演習	1	Unit 28, 29 ショッピング Large numbers and shopping	演習	1
Unit 31 英文履歴書 Resume	演習	1	Unit 20, 21 ファッションアイテム Fashion items	演習	1
Unit 32 就職面接 Job interview	演習	1	Unit 22 素材、洗濯表示 Materials and laundry care	演習	1
Unit 15 前置詞 Prepositions	演習	1	プレゼンテーション準備 Preparation for presentation	演習	1
Unit 18&25 形容詞 Adjectives	演習	1	プレゼンテーション Presentation	演習	1

【評価方法】出席状況 (50%)、授業への参加態度 (30%)、プレゼンテーション (20%) を総合的にS~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

前年度に英会話を履修した学生には積み重ねとなるカリキュラムとした。基本的な文法を復習し、口頭での運用をメインとしている。

主要教材図書 *Essential English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科 2年	単位 2単位
科目コード 504100	科目名 グラフィックワーク	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 高橋 翼

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

実務において必要なパソコンの基本的な操作の習得を目指す。ソフトは現場で必須のデザイン系 Adobe Illustrator/Photoshop と事務系の Microsoft Excel を使用していく。基本操作の他に製品図や仕様書の作成など実務レベルでの流れを学ぶ。

【授業計画】

● 使用ソフト

- Adobe Illustrator / Photoshop
- Microsoft / Excel

● 指導内容

- Tシャツの作成 Illustratorの習得
- ランニングの作成 : Illustratorの習得
- ワイシャツの作成 : Illustratorの習得
- ニットアイテムの作成 : Illustratorの習得
- 柄の作成 : チェック柄などの基本柄の作成
- 画像レタッチ : Photoshopの習得
- 切り抜き加工 : Photoshopの習得
- 基本的関数 : Excelの習得

● 提出課題

- ニット製品図
- カラージュマップ
- Excelテスト
- 最終課題 : Illustrator製品図
- 最終課題 : Excelを使用した仕様書

【評価方法】

評価基準: 出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

現場で使用するソフトの基本操作の習得。企画書、指示書など実務レベルのアウトプットの表現の習得。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位 1 単位
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間 後期 ()

担当教員(代表) : 森 薫子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

●志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う

- ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる
- ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる
- ・筆記試験

●育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1年後期、2年前期に学んだキャリア開発の総仕上げとして、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。

具体的には、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル、②PDCAサイクル、③企業・職種研究などの2年前期に学んだ就職活動の基本を踏まえつつブラッシュアップさせ、更に以下2点を強化。

② プrezentation能力

②筆記試験対策

あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。

これらの「総合的就職力」を、講義+ワーク+実習+SPI対策を通して身につけさせる。

全13回、すべての回を通してSPI対策を実施し、後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。

評価方法・対象・比重

受講態度(個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習) 70%+レポート20%+課題10%

主要教材図書

- ・BUNKA FASHION COLLEGE PLACEMENT GUIDE 2023
- ・レジュメ

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う。

育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う。

記載者氏名 森 薫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位 1単位
科目コード 930020	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 八木原 弘美	共同担当者 : 御田 昭子
-------------------	---------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
研修旅行を通じて紡績、染色、ニットの各工場を見学し、国内ニット産地の理解とニットに関する知識を深める。
コンピュータニット横編機による横編み商品からホールガーメント商品の生産の現場、ファクトリーブランド商品を見学する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・研修旅行 (2泊3日、山形県)

見学先

紡績工場・横編みニット工場・染色工場 (佐藤繊維株式会社・4工場)

セレクトショップGER (佐藤繊維株式会社)

横編みニット工場 (株式会社セイノコーポレーション)

横編みニット工場 (有限会社奥山メリヤス)

横編みニット工場 (米富繊維株式会社)

染色工場 (石川染工株式会社)

宝珠山立石寺

上山観光フルーツ園

評価方法・対象・比重

研修旅行参加、レポート提出でP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

研修旅行を通じて紡績、染色、ニットの各工場を見学し、ニットに関する知識を深める。
国内主要ニット産地である山形の魅力に触れる。

記載者氏名 八木原 弘美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位 1・1単位
科目コード 940105/940106	科目名 企業・学内研修 a・b (選択)	授業期間 (集中)

担当教員(代表) : 八木原 弘美	共同担当者 : 御田 昭子
-------------------	---------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

企業での職場実体験を通して、職業人としての心構えを育てる。

研修を受けることにより、現在学んでいる事柄の必要性を理解し、今後の学習意欲の向上につなげていく。

企業研修先としてはアパレルメーカー・ニットアパレル商社・OEMなどの企画部門やニット製造部門など。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

研修先 :

- ・アパレルメーカー、ニットアパレル商社、ニットアパレル製造工場などの企画部門
- ・学内での研修

研修内容 : 内容は各受け入れ企業により異なる

評価方法・対象・比重

出席状況・レポートによりP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

各企業において、ファッション産業界の各分野において実際に職業体験を行う。

学内研修においては、各企業やアパレル業界で働いている方々より、ピンワーク実技実習、商品企画カラー戦略、OEM講義、ディスプレイ実習など、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 御田 昭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科 2年	単位 1単位
科目コード 947200	科目名 コラボレーションb (自由選択)	授業期間 通年

担当教員(代表) : 八木原 弘美	共同担当者 : 御田 昭子
-------------------	---------------

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

概要(教育目標・レベル設定など 200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

①としま編んでつなぐまちアート」ではニットで公園の木々・建物を飾るニットアート「ヤーンボミング」を通じて、池袋のアート&カルチャーを創出するプロジェクト。2024年度も継続で参加の予定。ニットを通じて地域や多世代交流の場になっており、展示後の編地を公園のレジャーマットとして再利用するなど、ニットのSDGsやサステナビリティについて授業で展開し、地域に貢献している。

評価方法・対象・比重
出欠状況によりP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
今年度未定

記載者氏名 御田 昭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科 2年	単位 1単位
科目コード 980020	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 八木原 弘美	共同担当者 : 御田 昭子
-------------------	---------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

専門教科に関連し、より知識の充実をはかる集中授業、および一般教養を深める集中授業。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

ニットクリエーターの仕事	蓮沼 千紘氏
ニット作家と舞台衣装について	サイチカ 氏
ニットアパレル業界について	伴 真太郎氏
ニット業界 OEM/ODMについて	光成 洋平氏
ニットのダーニングについて	野口 光氏
皮革の知識	成田 邦子 先生
丸編カットソーについて	西川 真令 氏
ニット業界について	岩佐 光輝氏
SDGsへの取り組み	関谷 里美氏
ニット業界 OEM/ODMについて	福地 藍氏

評価方法・対象・比重 出欠状況によりP評価

主要教材図

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

専門教科に関連したテーマで、さらに知識の充実をはかるとともに一般教養を深める集中授業を展開。

記載者氏名 御田 昭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科 3年	単位 15 単位
科目コード 101220 /101320/101420	科目名 ニットアパレル論・演習	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 前田 亜希子	共同担当者 : 土井健太郎
-------------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル業界でのニットウェア専門職に従事することを想定し、ニット造形の基礎理論を基に、実際の工業製品と同じ機器を使用した物作りを主とした授業展開。商品の中のハンドニット分野とハンドニット業界の就職にも対応できる手編みの応用技術の取得も合わせて行う。クリエイティブな分野から工業製品の量産までニットの幅広いデザイン表現・知識・技術の取得を目指す。

【授業計画】

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ・ニットアパレル論 II (101220) 4 単位 | ・ニットアパレル演習実技 II (101420) 9 単位 |
| ・ニットアパレル演習デザイン II (101320) 2 単位 | |

1. ハンドニット作品 33 コマ (前期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 鉤針カーディガンハンドニット
2. カット&リングジャケット 34 コマ (前期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 工業機作品
3. コラボレーション作品 14 コマ (前期)
MNインターファッション株式会社のサステナブル素材『Brico』糸を使用した作品
デザイン・パターン・実物制作・レポート発表 ・鉤針、棒針、工業機作品各種
4. 部分編み・部部分縫い 6 コマ (前期)
ハンドニットの応用による高度な技術習得、工業ニット部分縫い
5. 量産実習 17 コマ (後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 工業機作品
6. 求心編み作品 (丸ヨーク) 30 コマ (後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 棒針作品
7. ニットマーチャンダイジング作品 23 コマ (後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート・マイブランドプレゼン 工業機作品
8. 部分編み・部分縫い 12 コマ (後期)
ハンドニットの応用による高度な技術習得、工業ニット部分縫い
9. 企業研究 20 コマ (後期)
就職先に合わせた自由研究 実物制作またはレポート形式 入社前の準備

【評価方法】

ニットアパレル論…期末試験 100% ニットアパレル演習実技…期末試験実技 40% 課題作品総合評価 50% 授業姿勢・出欠状況 10% ニットアパレル演習デザイン…課題作品デザイン総合評価 100%

主要教材図書 アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術、アパレル生産講座⑮工業ニット

参考図書 服飾造形講座、ニット用語辞典、日中英アパレル用語対訳ブック など

その他資料 オリジナルテキスト、各種部分縫い部分編み、参考作品、参考資料

授業の特徴と担当教員紹介

世界のハンドニットの技法を学びながら 2 年次の基本作品から応用作品へと発展させたハンドニット分野と、島精機製作所のコンピューターニットを使用した工業ニット分野の両方を同時に制作。幅広い就職先にも対応。課題ごとに専門性の高い教員が担当。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位 1単位
科目コード 101600	科目名 ニット造形演習	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 前田 亜希子	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テーマに基づいた編地提案を通じて発想力を育てる。今後の作品製作に生かせる様、ニットのテクニックを応用発展させる。

【授業計画】

- 1、ラメ・メタリックヤーン (2コマ) ラメ糸を効果的に使用した編地提案、ラメ糸の取り扱い
- 2、和紙・麻 (2コマ) 和紙の種類説明、張りのある素材の扱いと適正ゲージ
- 3、花 (2コマ) ニット製品では幅広い年齢層で使用頻度の高い花をテーマにした編地発想
- 4、テープヤーン (2コマ) テープヤーンの種類解説、ハンドニット小物の解説と制作
- 5、紡毛糸 (2コマ) 紡毛糸を生かした編地提案、ミーリング・フェルティング加工、オリジナルシングルジャカードパンチカード製作
- 6、凹凸 (2コマ) ニットならではの凹凸感を素材や組織を工夫し表現
- 7、マイコレクション (2コマ) 各自の世界観を画像や資料と共に編地表現

各回糸解説、発想指導、ハンドニット・家庭機・コンピュータニットテクニック解説、実物制作
編地レポート提出

【評価方法】

制作物・レポート 80% 編み立て実習・出席 20%

主要教材図書 アパレル生産講座⑯工業ニット アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術

参考図書 編地模様集

その他資料 参考作品

授業の特徴と担当教員紹介

今まで習った技法をフルに生かして各自が与えられたテーマで自由に表現をする。課題で使用しない素材にも1度はチャレンジすることができる。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位 5
科目コード 402400	科目名 ニットコンピュータシステム演習	授業期間 通年

担当教員(代表) : 土井 健太郎	共同担当者 : 鈴木麻由子
-------------------	---------------

教育目標・レベル設定など

工業横編ニットの生産システムの理解、およびコンピュータ制御横編機、デザインシステム、特殊機器等の使用方法を習得し、ニット作品の製作を通じて、ニットアパレルの総合的理解を深める。

【授業計画】

・デザインシステム実習（前・後期）【41コマ】

使用機種：APEX-3（島精機製作所）

コンピュータグラフィックス概論、コンピュータニットデザインの流れ

編地分解と編組織の理解

コンピュータ横編機の制御プログラミング

意匠図-編目図-編成図-デザインシステム色番号-プログラミング-編立の流れの理解

袋ジャカード、ケーブル、レース、タック、畦、ブリストージャカード、ピンタック、ドロップ柄、プリーツ
シングルジャカード、引き返し、振り編み、リンクング付属編み、インターチャ等基本編組織の編立実習、
成型柄プログラミング、ニットならではのシルエット応用編地…柄組から編立までの実習

編地ファイルレポート提出

編機の操作方法

使用機種：

SIR122SC7G, SSG122SC12G, NEWSSES-S・WG183

・リンクング縫製実習（前期）【3コマ】

横編みニット特有の縫製機器等の理解

・ホールガーメント編立実習（後期）【8コマ】

使用機種：APEX-3、NEWSSES-S・WG183

ホールガーメントの制御プログラミング（針抜き編成）、編立方法の実習、ループシミュレーション実習

・無縫製小物実習（後期）【7コマ】

使用機種：APEX-3、SWG091-N2

ホールガーメントの制御プログラミング（針抜き編成）、編立方法の実習、ループシミュレーション実習

・CP卒制編地研究（後期）【8コマ】

使用機種：APEX-3、NEWSSES-S・WG183, SIR122SC7G, SSG122SC12G

卒業制作に向け各自CPを使用した編地の研究を行う

・コンピュータ制御横編機による作品制作（通年）

他科目との関連作品編立（ニットアパレル演習、ニットマーチャンダイジング、卒業制作）

評価方法・対象・比重

学年末試験（筆記）60% 課題によるテクニック・レポート 40%

主要教材図書

アパレル生産講座⑯工業ニット

参考図書

その他資料

オリジナルテキスト、参考作品

授業の特徴と担当教員紹介

工業横編ニットの生産システムの理解、およびコンピュータ制御横編機、デザインシステム、特殊機器等の使用方法を習得し、ニット作品の製作を通じて、ニットアパレルの総合的理解を深める。

担当教員はドイツのコンピュータ制御横編機製造会社での経験、日本国内メーカーでのコレクションブランド製品製造の経験などを活かし、卒業後も製品指示に役立つ授業を展開する。

記載者書名欄 土井 健太郎

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位 1
科目コード 201900	科目名 ニット生産概論	授業期間 半期

担当教員(代表) : 浦 豊

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

ニット業界のリアルな現状説明や業務内容の説明、実務に近い形での製品企画、仕様書作成、利益計算などの演習。

PCを使った絵型作成の実演。就職後に少しでも企業の力となれる事を目標にしたカリキュラム。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○前期 14コマ

1~2 現在のニット業界についての説明、実際に物が売れた時にどのくらいの利益が出るのか?
製品の価格はどのように決めるのか?コスト計算なども含めた講義と演習

3~4 ニット(OEM/ODM/アパレル/etc)会社と仮定し、立場を変えた実務演習
学生との対話式にて講義と流れの説明

- ①ハイブランド(デザイナー)からの依頼を受ける OEM
- ②自社企画をブランド側に提案する ODM
- ③大量生産でなるべく安く作って売りたい商社
- ④アパレルブランドとしてニット製品を作って売りたい

5~7 APEXを使ったシミュレーション講義と演習
学生にも簡単に出来る機能を説明と演習

8~9 APEXを使った絵型の作成方法の講義と演習

10~11 学生個人で考える製品提案
コストを考えた製品の組み立てと一人一人へのアドバイス

12 法人(会社)の立ち上げ方
企業に属さないという選択

13 学生の感性からの商品企画
生産をする事を前提に「企画~売る」までの流れ

14 ニット生産概論のまとめ

評価方法・対象・比重

課題作品提出物・レポート・プレゼン・提出期限厳守の総合評価 80%

授業態度 20%

主要教材図書

オリジナルプリント

参考図書

その他資料 ニットアイテム各種

授業の特徴と担当教員紹介

現在ニットコンサルタントとして会社を経営している事を生かし、リアルな現状と現場に出て必要とされる人材になる為の指導をする。

記載者書名欄 浦 豊

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ニットデザイン科3年	単位	2単位
科目コード	科目名	ドレーピングⅡ	授業期間	通年（隔週）

担当教員（代表）： 野沢 沙予 共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

2年次で学んだことを基礎とし、デザイン画から立体裁断で表現できるようにする。

伸縮素材との関連性や違いを認識させながら、創作表現できるようにする。

各アイテムが完成した際には全員の作品を並べて講評会を行い、良いものを見極める目を養う。

【授業計画】

前期

- ① ジャケット <10> シングルプレスト・ノッチドラペルの基本的な三面構成のテーラードジャケットの確認及び展開
- ② カシュクールのブラウス <4> ドレープのデザイン

後期

- ③ パンツ部分縫い <2> 前持ち出し、見返しつきのファスナーあきパターンメーキング、縫製
- ④ カットソーTシャツ <4> 編地と織地の検証、フレンチスリーブ
- ⑤ ワンピース <8> ローウエスト切替えのワンピース
・ボディ・・・BUNKAヌードボディ使用

※提出後全員の作品を並べて講評会を行う

【評価方法】

評価S～C、制作物・提出物80%、出席率20%

主要教材図書

アパレル生産講座③ 立体裁断基礎編

参考図書 アパレル生産講座④ 立体裁断応用編

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

立体裁断での創造表現

自分の作品を制作するだけでなく、クラス全員の作品を並べての品評会を行い、審美眼を養う。

記載者氏名 野沢 沙予

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科 3年	単位 2単位
科目コード 500820	科目名 ファッショデザイン画Ⅲ	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 玉川あかね

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインワークの中でのデザイン画の必要性を再確認し、ニットデザイン画の画力 UP と表現テクニックの向上を目標とする。また、就職活動に対応したポートフォリオ作成のためのデザイン画を描きまとめる中で、デザインの企画構成力を強化する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I ニットの描き方／ドローイングペンによる編み地パターンの描き方 (線画)	<3コマ>
編地 (ローゲイジ) の凹凸感の描き方 (光と陰影の捉え方、彩色表現)	
色鉛筆によるドローイング、マーカー彩色テクニックの習得	
パステルの彩色テクニックと補助画材としての色鉛筆の使い方	
II 就活に対応したポートフォリオ製作	<6コマ>
プレゼンテーションのための着装デザイン画、商品の起案 (スタイリング)	
ニットアイテム図／ニット製品を明瞭な線図として描く	
III 配色とテクスチャー / 『ART からのデザイン』	<4コマ>
各種画材による混色、色出し	
水彩絵の具 (筆のタッチ) による材質感 (編み地、織り柄) の描き方	
IV コンテスト画／『学内コンテスト・デザイン部門』応募作品	<2コマ>
『全国服飾学校ファッショニング画コンクール』応募作品	<2コマ>
V テーマからのデザイン/デザインコンセプトに基づいたデザイン画の表現	<4コマ>
イメージの具現化	
VI 修了制作 / 創作デザインと画面構成 タブローとしてのファッショニング画の表現を学ぶ	<6コマ>
VII まとめ／学年末試験に向けての対策	<1コマ>

【評価方法】

授業課題作品及び実技試験で評価。期限後の提出作品は減点とする
S～C・F評価 学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書 文化ファッショング大系 改訂版・服飾関連専門講座⑤ ファッションデザイン画

参考図書

その他資料 参考資料プリント

授業の特徴と担当教員紹介

デモンストレーションを伴う講義と、実技演習科目

記載者氏名 玉川あかね

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位	1 単位
科目名 ファッションマーケティング		授業期間	前期 14 コマ
科目コード 600900			

担当教員(代表) : 山根千里	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テーマは、起業、副業、社内起業、デジタル、多様性。

14回の授業を通して、ニットに関わる新商品やビジネス、イベント等を考え、プレゼンテーション資料を一人で作成、それぞれの生徒の、型にとらわれない個性や発想力を引き出し、そして発表する。

また、グループを作り、その中でそれぞれの得意とする能力のシェアをするなど、人と関わりながら、多様性を生かしながら仕事を組み立てることも学ぶ。

個人での起業や、中小企業で社内起業した場合の、マーケティングやビジネス、プランディングのノウハウを学ぶ。

テーマ	方法	コマ数
マーケティングについて。	講義	2
ニットの仕事について、個人起業、社内起業など。	講義,	1
マーケティングとプランディング。	講義	3
起業やビジネス、売り上げ、在庫、コスト感覚など、数字について。	講義、実践、演習	1
起業、社内起業、ビジネスについて。	講義	1
ビジネスプラン資料作成。	講義、実践	3
ビジネスプラン発表。	講義、実践	3

【評価方法】

出席30%、プレゼン、発表30%、資料作成40%、

主要教材図書

参考図書

その他資料 講師作成資料

授業の特徴と担当教員紹介

ニットの専門性を生かしたものづくりを、ビジネスへつなげるためのいろいろを学ぶ。

ニットデザイナーとしてデザイナーズブランドや大手アパレル会社に勤務、ニット業界の生産から企画までを長年経験する。

退職後、日本の地方の伝統産業を生かしたブランドを立ち上げ、クラウドファンディング実践、起業する。

2021年度 京都女性起業家賞 特別賞

記載者氏名 山根千里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科 3年	単位	4単位
科目コード 605220	科目名 ニットマーチャンダイジングⅡ	授業期間	(4月~1月末)

担当教員(代表)：宮川里絵

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業同様の商品企画・作成を目標に即戦力になるニットデザイナーを育成。

商品企画・構成、製造工程（横編工場をメインにした依頼書類などの作成）、生産・品質管理の流れを習得。

1. 各自ブランド企画・立案・イメージマップ作成

2. 情報収集と分析

- ・実店舗マーケットリサーチ 月1回
- ・インターネット、SNSなどをを使ったコレクション・トレンド情報の収集 (SS 海外コレクション)

3. 指示書（仕様書）作成（各自ブランド企画内から）

★1点はニットアパレルの授業にて実際に製品を作成する

指示書（仕様書）作成 (OEM メーカー目線。お客様から画像などで依頼を受けた想定で、素材検討&仕様書作成)

4. 各自ブランドプレゼンテーション

- ・マイブランドの立案～1点サンプルアップまでをまとめて、自分の意志やアイデアを相手にアピールする方法を学ぶ
- ・年間通して作成してきた提出物をまとめて、提出。

【授業計画】

アイテムの異なる仕様書の作成方法を習得することを目標に、就職後即戦力として活躍できるように育成します。また、自身で考えたアイデア（意思）を相手（客先や工場）にしっかり伝えられるように、工業機仕様の編成技術ワードや、素材や機械背景なども一緒に習得できるよう授業していきます。

【評価方法】対象・比重

授業態度20% 課題・提出物期限厳守・プレゼン 80%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業に入ってから必要と思われる、特に仕様書の書き方に関して重点的に指導していきます。

記載者氏名 宮川 里絵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG3	科名 ニットデザイン科3年	単位 1
科目コード 902200	科目名 デザイン文化	授業期間 後期

担当教員(代表) : 伊豆原 月絵	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など デザインの原点ともいえる西洋における時代様式の美、モダンアート表現、日本の伝統美などあらゆる分野から美とその象徴性を学ぶ。各自が知識を深めるとともに、個性ある創造性が養われることを目標とする。
--

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先
--

授業方法 / 講義、ビデオ使用
課題演習

I. 西洋の時代様式の美と象徴性 (5コマ)

1. 古代のモチーフと象徴性
2. 中世ヨーロッパの建築と西洋の紋章
3. ルネサンスの宗教芸術
4. フランスの宮廷文化
5. アール・ヌーボー様式の美

II. 日本の美 (3コマ)

1. 日本の伝統美と象徴性
2. 生活の中の色彩感覚
3. 装飾文様の東西比較

III. モダンアートとファッション (5コマ)

1. キュビズムの表現
2. フオビズムの表現
3. デ・スタイルのデザイン
4. ファッションデザイナーとテキスタイルデザイン
5. オートクチュールデザイナーとモダンアート

評価方法・対象・比重	提出物(演習作品、レポートファイル) · · · · 90%
出欠席状況	· · · · · 10%

主要教材図書

参考図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座 ⑤「色彩」 ⑥「西洋服装史」

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 デザインの原点ともいえる西洋における時代様式の美、モダンアート表現、日本の伝統美などあらゆる分野から美とその象徴性を学ぶ。各自が知識を深めるとともに、個性ある創造性を養う。
--

記載者書名欄 伊豆原 月絵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位 1単位
科目コード	科目名 コラボレーションC(自由選択)	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 前田 亜希子	共同担当者 土井健太郎
-------------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業で取得した知識や技術を活用し、企業とのコラボレーション活動やコンペティションにグループまたは個人で参加する。企業とのやり取りを通じて実社会での厳しさややりがいを体験し、就職や今後の学生生活に生かす。

【授業計画】

○MNインターファッション株式会社 グループ制作

- ・MNインターファッション株式会社様開発、リサイクル素材「BRICO」を使用した商品企画と実物制作。
- ・8月・11月の商社展示会発表。デザイナー・営業の社員の皆様からの学生へのアドバイスや評価を受ける。

【評価方法】

○評価 作品提出・出欠状況で履修認定

主要教材図書 アパレル生産講座⑯ニットの基礎技術、アパレル生産講座⑰工業ニット

参考図書 服飾造形講座、ニット用語辞典、日中英アパレル用語対訳ブック など

その他資料 各企業からの参考資料、前年度資料、過去作品

授業の特徴と担当教員紹介

普段接することの少ない企業の方とのやり取りを通して社会に出てからの仕組みやグローバルな姿勢が身につく貴重な体験ができる。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位 2単位
科目コード	科目名 特別講義	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 前田 亜希子	共同担当者
-------------------	-------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

専門科目に関する学外の専門講師や企業の方による、より特化した講義を中心に場合によっては集中授業と実習を行う。学内の講師からは身につけたい他分野の技術や知識を学ぶ。社会に出る前に幅広い知識と技術を得て視野を広げる。

【授業計画】

- ① シルバー編み機について 前田 寛幸 氏 2コマ 実習
- ② 特殊ミシンの使用方法 西川 真令 氏 3コマ 講義・実習
- ③ 素材の知識 佐野 貢士 氏 2コマ 講義
- ④ デジタルプリント 飯塚 有葉先生 1コマ 講義・実習
- ⑤ ファクトリーブランド 橋本 董 氏 2コマ 講義
- ⑥ 繊維専門商社とは 加藤 達之 氏 1コマ 講義
- ⑦ アクセサリー 中川 清美氏 3コマ 実習
- ⑧ デザイナー講和 梶井 良晃氏 2コマ 講義
- ⑨ ニット業界いろいろ 中嶋 佐和子 氏 1コマ 講義
- ⑩ 原価計算法 満留 里枝氏 1コマ 講義・実習
- ⑪ 映像表現・カメラワーク 尾島 敦氏 6コマ 講義・実習
- ⑫ 3DCAD 使用法 宮澤 国博先生 2コマ 講義・実習

【評価方法】

P評価 出欠状況で履修認定

主要教材図書

参考図書

その他資料 各企業・講師からの参考資料、前年度資料、過去作品

授業の特徴と担当教員紹介

通常科目以外の、卒業までに身につけたい様々な分野を学ぶ。企業からは社長・営業職・デザイナーなど様々な立場の方を。学内講師は皮革やアクセサリー、3DCADなど専門を極めた教員が講師を務める。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科 3年	単位 4単位
科目コード 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間 (後期)

担当教員(代表) : 前田 亜希子	共同担当者 : 土井 健太郎
-------------------	----------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

3年間の集大成として、自由作品を創作。デザイン・素材・編地・技法・用具の選定、技術などの総合的な創作力を問う。作品本体に加えアクセサリーからヘアメイクまで総合的にコーディネートし、音効・照明・映像などの舞台演出を考え卒業制作ショーで発表する。

【授業計画】

卒業研究・創作 80 コマ

- 1、導入…科の特色を生かしニット7割以上、布帛・その他3割までを目安とする。複数体の場合はニットを生かしたデザインであれば比率はその限りではない
- 2、デザイン発想…テーマを個々に設定し、スワッチ出し・研究
- 3、各自テーマ決定、プレゼンにて卒業制作に相応しいか判定
- 4、型出し
- 5、補正、ニットパターンへ変更
- 6、ハンドニットからコンピュータニットまで各種編立
- 7、縫製・まとめ
- 8、アクセサリーほか小物制作
- 9、コーディネート点検
- 10、卒業制作ショー各パートの実働と発表

【評価方法】

制作物 100% (作品、コーディネート、中間点検などの総合評価)

主要教材図書 アパレル生産講座⑯工業ニット アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術 服飾造形講座②~⑦

参考図書 編地模様集 各種ファッショングラフィック・情報誌

その他資料 参考プリント 参考作品

授業の特徴と担当教員紹介

ニットデザイン科最後の課題としてニットを主体とするが、今までの染色等の学科や布帛の技術も生かし総合的なプロデュースをする。

記載者氏名 前田 亜希子